

普及活動情勢報告（令和2年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

南国市土地利用型園芸農業研究会の活動を支援 ～加工用キャベツ収穫機の実演会の開催～



12月9日、加工用キャベツの収穫作業の省力化に向けて、キャベツ収穫機による収穫作業の実演会が開催されました。

実演会では、J A及び農機メーカーから他県での取組事例、収穫機の特徴や操作方法等について説明がありました。その後、収穫機による収穫作業が行われ、その作業性を確認しました。参加者は、キャベツを効率よく収穫していく作業効率の良さに納得の様子でした。農業改良普及課は、収穫機導入の基礎資料作成に向けて、作業時間等を調査しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関や農機メーカーと連携し、研究会の活動を支援していきます。

ベテラン女性農業者に学ぶ 女性の農力向上への支援



南国市でシシトウ、ピーマンを生産している比較的農業経験の浅い女性農業者4名が、11月26日にベテラン農家の圃場を視察し、シシトウの栽培や天敵の活用などについて学びました。農業改良普及課は、質問事項の事前聞き取りや視察先との打合せなどの支援しました。

女性農業者は、耕種概要や天敵の活用等の説明を受けた後、圃場を見学しながら、活発にやりとりを行い、熱心にメモを取る姿も見られました。その後の意見交換では、ベテラン農家から、質問への答えの他、自身の経験に基づいた助言等もありました。

女性農業者は、今後、天敵についての勉強会などを計画しており、農業改良普及課は、女性農業者の農力向上への支援をしていきます。

J A 高知県香美地区ピーマン部会が現地検討会を開催



12月7日、J A 香美地区ピーマン部会が現地検討会を開催し、生産者11名が参加しました。

農業改良普及課からは、うどんこ病防除や栽培管理に係るアンケートを実施しました。今後とりまとめた結果をもとに、生産者ごとに合った栽培管理の巡回指導を行っていきます。4圃場巡回では、生産者同士が仕立て方法や病虫害防除について、意見交換を行う姿が見られました。特に新規就農者からは、冬場の加温管理や栽培に関する質問が多く出ていました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してピーマンの栽培技術の向上に向けて支援します。

来年の就農に向けて～シシトウの研修生が修行中～



今年2月から南国市のシシトウ栽培の指導農業士のもとで研修生1名が研修を受けており、12月18日に研修状況の確認と意見交換を行いました。

研修生から、圃場に発生していた害虫への対処方法の説明があり、実践的な知識を深めている様子が伺えました。来年就農予定であり、「早めに就農予定地の土作りをして、定植が遅れないようにしたい」、「資金計画作成の時には農振センターにも相談に乗って欲しい」といった意見が出されました。

農業改良普及課では、今後も研修生がスムーズに就農できるよう支援していきます。

さあ、みんなで収穫しよう ～高知工科大学のユズ収穫体験学習から～



11月14、15、18日、農業改良普及課はJ A物部柚子生産部会2戸とともに、香美市の園地で、高知工科大学のユズ収穫体験学習を支援し、学生10名を指導しました。

同部会では収穫期の労働力確保が課題となっており、直近の調査では約半数が5年後に不足すると回答しています。一方、工科大学は今年から地域社会に対して学生の実践的な学びの場を募集しており、同部会がそれに応募して実現しました。

学生たちはトゲに苦労しながらも丁寧に収穫し、「貴重な経験をした」と好評でした。受入農家からも「学生のおかげで収穫作業が順調に進んだ」と次年度も受入の意向を示していました。

農業改良普及課は、収穫体験学習に参加した学生のアルバイトへの展開も検討しながら、同部会の労働力確保に取り組めます。

オンライン料理教室での産地紹介！ ～青年農業士中央東ブロック連絡協議会～



12月12日、大阪中央青果主催「高知野菜・果物を食べよう オンライン料理教室」が開催され、青年農業士中央東ブロック連絡協議会の9名が産地PRゲストとして参加しました。

会では、全国各地の料理教室参加者に対して、農業士から栽培や出荷の特徴を説明したり、産地紹介動画を使ったPRが行われました。

また、シシトウ圃場からの生中継も行い、辛いシシトウの見分け方や天敵の様子などを参加者に説明しました。「種がないシシトウが辛いんだ!」、「シシトウのハウスに来たみたい」との反応が得られました。農業士からは、「コロナ渦でも十分にPRできる。部会でのPRにも活かしていきたい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、これからも青年農業士中央東ブロック協議会の活動を支援していきます。